



さいとう たけし
齋藤 豪さん

プロフィール

39歳。上対馬町比田勝出身、在住。高校卒業後上京し、販売業に携わる。郵便局を退職した父が実家で鮮魚店を始めることになったのをきっかけに30歳で帰郷。以前このコーナーに登場いただいた武富さんのご紹介で奥様と知り合い結婚。現在3児の父。2010年4月福岡市で行われた『ご当地グルメコンテスト』で優勝したとんちゃん部隊の隊長を務めるほか、精力的に地域の活動などにも参加し多忙な毎日を過ごす。「忙しい日々を柔らかくしてくれませう」と子どもの話題になると目じりが下がる。

とんちゃんでお忙しいですね。だからよく言われますよ、「とんちゃんのことばかりして」って(苦笑)。「地域活性のために」と集まってきた部隊なんです。個々の職業もばらばらですが、部隊の仲間たちを通して横のつながりが広がりました。この活動は仲間がいたからできたと思います。楽しいですよ、部活動みたいで(笑)。知らない人からもよく声をかけられるようになりましたね。

とんちゃん部隊の活動の目的は？

対馬の、特に上対馬のPRがしたいと思ってます。ちょうどB級グルメが流行ってたのもありましたし、とんちゃんを使って上対馬をアピールしていいことになり、活動が始められました。

今年の私たちのテーマは「笑顔」。なんですけど、美味しいとんちゃんを食べて被災地の皆さんに笑顔になってもらいたくて、7月30・31日の2日間、岩手県と宮城県へ炊き出しに行ってきました。

まだまだ復興が進まない地域もありますし、皆さんを元気づけようと思って行ったのですが、

私たちが逆に元気をもらった気がしました。

11月には今年のB1グランプリが開催される姫路の会場へ視察に行きます。来年9月に小倉でB1グランプリの全国大会があるんです。それに出来るように、現在準備中です。

同じ活動をされている各地の皆さんと知り合って影響されたことは？

地域を活性化させようという心持ちの部分が勉強になりました。あと、皆さん本当に優しいんです。僕たちは新参者だったんで、周囲の方々がとても気を使ってくださって。また、売り方や準備しておくというものの、声のかけ方など技術的な面も勉強になりました。大会ではその時勝負の部分もありますから、やっぱり味だけじゃなくPRの仕方が大事ですね。

これから目指すのは？

もともととんちゃんが日本一になれば「日本一のとんちゃん部隊」が認定する美味しい食材」としてとんちゃん部隊のシールを米や魚、椎茸など農水産物に貼って対馬の特産品をアピールできればという考えがあります。そこまで行くには時間もかかる

でしょうけど。

他県の方からは「対馬の人は良いものをたくさん持っているのにアピールが下手だ」と言われるんです。いつもあるものだから特別には思っていないものが、実は他県の方から見ればすごく興味があるもの、優れているものだったりする。とんちゃんが良い例ですよ。九州で受け入れられて1位を獲ったけれど、地元の人にとっては、こんなものが何で？って。昔から食べ慣れているからですよ。

対馬は離島であるうえに、上対馬は交通の便も悪い。もともととんちゃんが日本一になったら、ジェットfoilがまた来るんじゃないか？とも思ったりしてるんです。九州から、ましてや離島から日本一になったところはまだないわけですから。そうして経済効果が上がってくれば、どうにかして上対馬に人が流れてきてくれるようにしたいですね。

毎回、登場してくださった方に次の方をご紹介いただくこのコーナー。次回は上対馬町古里在住の細井尉佐義さんです。お楽しみに。